

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年10月31日(水)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月31日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	換気空調系活性炭式希ガスホールドアップ建屋地下2階排気ダクト継手部において、腐食により空気の吸い込みが認められたため、当該継手部を点検・修理。 なお、当該ダクトは同一エリア(管理区域内)の空気を流しているため、環境への影響なし。	GⅢ	
2	1号機	換気空調系中央制御室冷凍機(A)オイルポンプローターシャフトにおいて、間隙値の許容値超えが認められたため、当該ローターシャフトを点検・修理。	GⅢ	